

## 事業承継学会、2018年2月研究会（京都）のご報告

日 時：2018年2月14日（水曜日）18:30~20:30

会 場：同志社大学良心館 RY409 教室（今出川キャンパス）（キャンパスマップでは！で表示）。

[https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html?ryoshinkan\\_building#campusmap](https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html?ryoshinkan_building#campusmap)

講演者：後藤三愚（心学修正舎理事、事業承継学会会員）

演 題：「素晴らしき哉 石田梅岩の人の道、商人道」

司 会：八木 匡（やぎただし）氏（同志社大学経済学部教授）

主 催：一般社団法人事業承継学会

### 講師プロフィール



1961年 法政大学工学部卒、同年(株)日立製作所入社。日立在籍中に「妙なる」体験、「神の手に導かれる」体験に遭遇し 石田梅岩の心に絶対的確信を得る。10年前から江戸時代中期に開講し、休眠中の京都・「心学修正舎」の再興計画に参加し、更に 5年前から東京で石田梅岩に学ぶ好学の士と「石門心学・実践講座」を始めて今日に至る。

### 講演要旨

「道徳・倫理的」経営を志す経営者は 必ず「石田梅岩」の門を通過すると聞く。一方では「道」の真実を知った経営者は皆、自分の言葉で話し、「石田梅岩」の教えに依って経営しているとは述べられない、何故か。愚生は「体験」的に「石田梅岩の心情」には日本古来伝統の心と「孔孟の儒」の本質が秘められていると確信している。その一貫する所が「石田梅岩の心情」にあること、更にグローバル化、イノベーション、ダイバーシティの環境下に在る現代社会にとって、不易一貫する「石田梅岩」の智慧が 益々有効であることをご紹介した。

【研究会参加者】 会員 7 名、京都老舗の会 2 名、非会員 4 名 計 13 名